

ICC企画塾

<冬の特別編>

12月13日(火) 18:00~20:00

ICC Planning Workshop vol.5 START:18:00~20:00 13th DEC. <Tue.>

キカクをカタチに。

あなたの魅力的な企画を実現のカ・タ・チにするためのワークショップ。



浮かんでは消えてしまう「思いつき」。それを「ひらめき」にすることで、企画は一気に魅力あふれるものとなります。ゲストに、ソニー 開発研究所で特許出願件数200件・特許登録30件以上に携わってきた、まさに「ひらめき」のプロである油井康寿氏をゲストにお迎えして、「ひらめき」を「カタチ」にしていくための秘伝を伝授していただきます。少人数・ゲストとの対話形式でこそ実現できる満足度の高いワークショップ ICC 企画塾、今回はその冬の特別編です。

日 時:12月13日(火) 18:00~20:00 (開場:17:45)

会 場:インタークロス・クリエイティブ・センター(1F Cross x Garden) 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

講 師:久保 俊哉 (ICCチーフコーディネーター)

ゲスト:油井康寿氏 (イノベーター)

参加費:無料(要予約) 限定10名

▼予約申し込み:URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/cc6c859664064>

※切:定員になり次第締め切らせていただきます。

お問合せ:インタークロス・クリエイティブ・センター事務局(土日、祝を除く 9:00~17:00)

住所:〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 TEL:011-817-8911

FAX:011-817-8912

E-mail:info@icc-jp.com URL:<http://www.icc-jp.com>ICC Planning Workshop
Vol.5

Schedule:

18:00~

・ゲスト紹介

(油井康寿:イノベーター)

18:30~20:00

・ディスカッション

20:00~ (交流会)

今回は、企画を進めていくと同時に、それを実現していくための“発想”がテーマです。その新しい発想を達成させるためにはまた何が必要なのかを体験して行きます。

ゲストプロフィール:油井 康寿(イノベーター)

1959年生まれ。長野県佐久市出身。早稲田大学理工学部機械工学科卒業後、ソニーに入社開発研究所配属。カラービデオプリンター開発に従事。特許出願件数200件、特許登録30件以上。2005年に独立し、有限会社ドリームペインを設立し、2008年株式会社めだかの学校設立し、環

境、健康・医療、教育関連を主体にコンサルティングサービスを展開。2013年2014年新潟工科大学専門学校技術顧問兼講師として特許庁、文部科学省主催の学生パテントコンテストに2年連続で入賞に導く。その他クリエイティブな活動としては創作おりがみORIPITを創設し2010年の上海万博にてWWFパビリオンでオリピットアースサポートイベント開催。著書として桑野信義との絵本「そらをとべたら」がある。



▼ ゲストプロフィール（詳細）：油井 康寿 (イノベーター)

1959年 長野県佐久市生まれ

1983年 早稲田大学理工学部機械工学科卒業

1983年 ソニー株式会社入社 開発研究所配属されカラービデオプリンターの開発設計、プリントメディアの標準化ソニー代表、プリクラのプリントエンジン開発商品化および生産工場立上げ、その後新規事業開発、本社直轄プロジェクトなど勤続22年。

1984年 社内ビジネスコンテストにて入賞。

環境事業モデルで2億円のプロジェクト予算獲得。

取得特許30件 特許申請総数200件以上。（カラープリンター技術、新ビジネスモデル等）

2005年 早期退職制度により退職後独立、中小企業向け発明コンサルティング会社有限会社ドリームベインを設立。後に2010年株式会社ドリームヴェインに改称し代表取締役就任。

2008年 元ソニー株式会社上席常務と共同で記念品企画製造販売事業を営む「株式会社 めだかの学校」を設立し代表取締役就任。

2010年 上海万博にてオリピットおりがみ教室をWWFパビリオンにて開催。延べ3000

人の中国の子供たちに日本のおりがみを教えた。

2011年 新潟の専門学校グループNSGカレッジリーグ新潟工科専門学校クリエイテ

ィブ発明科の非常勤講師に就任、その後NSG技術顧問に就任、ものづくり創造工学科講師を兼務中。特許庁、文部科学省主催の学生パテントコンテストで2年（2013年、2014年）連続入賞に導く。

【主な顧問および取締役】2016年現在

- ・新潟工科専門学校 技術顧問（技術工学系専門学校）
- ・株式会社プランニングオフィスルー 取締役（竹製品製造会社）
- ・ビーゴメディカルセールス株式会社 技術顧問（酸素発生器開発製造販売会社）
- ・スペースエンジニア株式会社 技術顧問（中国系エネルギー関連会社）
- ・菱和テクノサービス株式会社ー低重心架台メーカー顧問（太陽光ビル屋上発電会社）
- ・株式会社シャイニーテクノロジー 執行役員（浄水、汚水処理等環境事業）
- ・TNKジャパン株式会社顧問（医療ツアー、美容エステ企画運営会社）
- ・SANNO Partners LLC 技術顧問（上場コンサルティング）
- ・株式会社BES顧問（SNSマーケティング会社）
- ・JCメディカル顧問（中国向けメディカルツーリズム会社）

【主な出版著作】

- ・「そらをとべたら」桑野信義共著のおりがみの絵本
- ・「りょーたま」坂本龍馬マンガの電子出版（キンドル、リーダーズ、POD）

【主な実績】

- ソニー在籍時代 世界初昇華性カラービデオプリンターのマビグラフの開発に従事。A6サイズのプリントメディア規格「VP規格」をソニー代表として日立社、コダック社の3社でまとめ家庭用プリンターのプリントメディアの標準化を行った。
- 世界初のシールプリントできる民生・業務共通プリントメカデッキの開発リーダーとして製品化し、シールプリントマシン「プリント倶楽部（プリクラ）」に採用される。
- 本社直轄事業としてDD事業企画室を立ち上げコンテンツタイトルを世界各国のタイトルベンダーと日本語ローカライズ交渉。
- 在籍中のプリンター関連・新規事業の特許申請数200以上、内30の特許取得。
- ソニーで開催されたコンテストにおいてすべて受賞。環境ビジネスアイデアにおいて社内初の2億円以上の開発予算を獲得。
- 1997年 インクジェットプリンターの年賀状以外での利用を高めるため絵柄付きのおりがみ脳活折紙ORIPITを発案創出。個人でホームページ「紙の洞窟」を開設（現在はオリピット）して数々の雑誌に取り上げられる。
- 2005年6月 ラッツ&スターの桑野信義（くわまん）とのオリピット付きのコラボ絵本「そらをとべたら」出版。丸善本店にてサイン会開催し、週間ランキング1位獲得。
- 2009年 独立後初のお箸が一膳出てくる発明特許「一膳くん」を出願。勝間和代の番組「デキビジ」に取り上げられる。
- 2010年10月上海万博WWFパビリオンにてORIPIT EARTH SUPPORTイベント開催
- 2011年4月から新潟総合学院カレッジリーグの新潟工科専門学校の要請により、クリエイティブ発明科の講師となる。2012年新潟工科専門学校の技術顧問に就任。
- 発明実習を指導し特許庁後援工業所有権情報・研修館主催パテントコンテストにて学生の申請した発明を入賞に導く。
- 東日本大震災後においてはオリジナル折り紙「ORIPIT」によるボランティア活動及び復興応援ホテル「サンファンヴィレッジ」の立ち上げを支援。

主に教育関連、環境関連の事業領域を軸に活動を行っている

▼ 講師プロフィール：久保 俊哉 (メディア・プロデューサー)

1957年、小樽市生まれ。日本大学芸術学部放送学科在学中、テレビ朝日にて淀川長治のアシスタントを務める。その後農業の関連会社にて8年間貿易実務、貨物海上保険業務などの基幹産業を広く学ぶ。その後広告代理店、外資系ゲーム会社、CGプロダクションを経て1998年4月独立。世界的にも新しい試みであるクリエイティブなインキュベーション施設である*インタークロス・クリエイティブ・センター<通称:ICC>のトータルプランニング、プロデュースを行う。その後もICCチーフコーディネーターを務め、札幌市のクリエイティブ産業のプロデュースを行っている。「sapporo ideas city」(札幌市)の企画立案、政策プランにも携わり、英国の"tomato"と一緒に都市ブランディングや、2006年からスタートしたSAPPOROショートフェストを企画プロデュース、ディレクターを務める。札幌市立大学大学院デザイン研究科「メディアプロデュース特論」藤女子大文化総合学科「映像表現論」講師を務め、クリエイティブ関連のセミナーや講演、ワークショップなど教育分野を手がけている。